

うつくしま ものづくりの祭典 in あいづ 2006

会津ブランドものづくりフェア'06 概要

I. 目 的

「会津ブランドものづくりフェア」は、平成 16 年に開催された「第 21 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」及び「うつくしま地場産品フェア'04」の気運を継承し、伝統的工芸品産業と地場産品の一層の普及振興に一定の成果があったところである。

一方、会津地域では半導体をはじめとする先端産業や、編み組やわら細工等、生活に密着したものづくりへの取組みも盛んに行われている。

こうした様々な、より幅広い「会津地域のものづくり」を地域の魅力として「会津ブランドものづくりフェア'06」を通して、さらに会津地域内外に PR するとともに、ブランド化を目指し、地域の特色ある資源の魅力を上向きさせ、未来へ継承し、ひいては地域産業の振興を図る。

また、このイベントを産業観光の一つとして位置付け、県外からの来客に「ものづくり会津」を PR するとともに購買を促し、工芸品や地場産品の一層の販路拡大に繋げる。

こうした取組みのもと、魅力あふれる郷土を目指し、会津地域の「ものづくり文化の発信」を行うものである。

II. 事業計画

1. 会津ブランドものづくりフェアの開催

(1) 会 場 あいづドーム

会津若松市門田町大字御山字村上 1 6 4

〔屋内会場〕

2,998 m²

〔屋外会場〕

仮設テント

〔駐車場〕

2,300 台 (正面 500 台、工業団地駐車場 1,800 台)

(2) 会 期 平成 18 年 10 月 28 日 (土)、29 日 (日)

(3) 開催時間 10:00 - 17:00 (最終日は 16:00 終了)

(4) 動員目標 2 日間合計で 23,500 人

(5) 内 容

一、企画展示工房

① 先端産業ものづくり

～伝統産業だけでない会津の特徴を来場者に PR する。

② ジャパンブランド新感覚ものづくり

～会津塗、会津本郷焼に対する来場者の認識向上を目的とする。

③ 産学連携型ものづくり事業「會's NEXT」の成果中間報告

～東京造形大学の協力により、会津漆器の新しい表現(デザイン等)を創造し、その試作品等の展示とともに評価を得る。

その他、「注目のこだわり工房」の紹介や「平成 18 年度会津若松市発明工夫展」受賞作品の展示、「科学実験コーナー」等

二、体験工房

① 地産地消手づくり工房

～地産地消運動の紹介や各種体験コーナー、試食コーナーなど

② 子供工房

～製作体験を通じて、ものづくりによる達成感や喜び、感動を味わってもらおう。

三、PR・物販工房

① うつくしま名産品コーナー

～県内の名産品を一堂に取り揃え、各地域製品のPR、物販を行う。

② 伝統的工芸品物販コーナー

～国指定伝統的工芸品を来場者にPR、販売を行う。

その他、「ゆかりの地紹介コーナー」を予定。

四、実演工房

① 公開工房

～伝統的工芸品の実演コーナー。匠の技のPR。

(6) 同時開催事業

「うつくしま工芸品フェア'06」

会場：あいづドーム

主催：福島県商工労働部県産品振興グループ

内容：福島県伝統的工芸品を使ったテーブルコーディネートコンテスト
新作展等

※ここまでが「うつくしま ものづくりの祭典 in あいづ 2006」

(7) その他の併催事業

「あいづ極上のごはんと最高のお供達」～まだあったんです。日本のソウルフード～

会場：あいづドーム前ローラースケート場

主催：極上の会津プロジェクト協議会(事務局・観光課)

内容：会津方部でとれた 8 種類の新米(コシヒカリ・ササニシキ・ひとめぼれ)を天然水で炊き上げます。また、そのお供である地域限定の味噌・豆腐を使用した 4 種類の味噌汁、さらには各地域で厳選、推薦された 10 種類の漬物等で極上の秋を召し上がれ。

新米で食べる「ミニソースカツ丼」「ミニ米沢牛丼」「ミニ会津坂下うまうま煮込み丼」のドンブリフェアも同時開催。

「ジュニア・エコノミー・カレッジ」

会場：あいづドーム屋外仮設テント

主催：会津若松商工会議所青年部

内容：地域の子供たちに商売の楽しさと厳しさを実際に体験してもらおうという取り組みです。